

楽しいプログラムがめいりおし!

秋のおすすめプログラム



森のピザ教室

森のピザ教室がはじまるよ!
生地をこねて、トッピングして、
薪を割って、窯に入れて……
石窯を使ってピザを食べよう!

- 時間** 午前の部：9:30～12:00(応相談)
午後の部：13:30～16:00(応相談)
- 料金** 1枚：1,800円(4枚以上のご注文で実施いたします)
+ 1枚は直径約20cm程度です。
- 定員** 15名
- 持ち物** 三角巾、エプロン



木まの工房

電動工具を使いながら自由きままに
ものづくり! 自然素材を使ってオリ
ジナル作品を創ろう!

- 時間** 9:00～17:00
 - 料金** + 予約不要
自由工作：500円/日 ※材料別。持ち込み可能。
+ 要予約(スタッフ指導付)
・スプーンづくり 1,500円/本
・バターナイフづくり 1,000円/本
 - 対象** 高校生以上
- ! イスやテーブルなどの作成指導も承ります。(作成物、料金要相談)

▲ 1週間前までにご予約ください。
▲ ご利用状況により実施できない日程もありますのでご了承ください。

iBart

2013 in Miyazu

宮津・竹の学校・
国際ワークショップ

宮津の「竹の文化」再生を目指し、
ミラノ・ダカルから芸術家を招聘。
多数の国内デザイナーや、若手庭師ら
の参加により、竹を利用した芸術作
品、ランドスケープ作品、デザイン試
作に取り組みます。(一般公開)

10/29 pm～11/4 am 作品展示
10/29 オープニングアクト 10/30～11/2 オープンアトリエ
11/3 竹のインスタレーション設置・プレゼンセッション・情報交換会
URL: <http://ibart2013.jimdo.com/>

new

スマイル! ロゴマーク 初お目見え



美しい丹後。波打ちぎわ
に浮かぶ山。輝く星。
「海・星・山」の風景を新
ロゴマークにデザインしました。Uの文字には「スマイル」。
豊かな自然をまもり、笑顔の公園づくりを目指す。
スタッフ一同の思いを込めました。



- アクセス**
- 京都縦貫自動車道經由「宮津・天橋立IC」から
国道178号線を伊根方面へ約25分
京都駅・大阪駅から約2時間強
- 北近畿タンゴ鉄道「天橋立駅」から丹海バスで伊根方面へ約40分
「波見口」バス停下車徒歩約30分(約2km)
- 「海と星の公園下」バス停下車徒歩約15分
(風の谷に続く急な山道です)

公園から ひとこと



ゲストハウスの定員を40
名に増床。より多くの皆様、
ご家族、団体の方々も、手
ごろな価格でご宿泊いた
だけます。「はむはみ」と呼
ばれる地産地消の健康食、
木質バイオマスで沸かす「エコ風呂」の柔らかいお湯
も名物です。透き通る夜空。満天の星々。木々の香りに
癒されながら、テレビの無い「エコ宿泊」を満喫で
きます。駐車場やWi-Fiインターネットも無料。さら
に御希望の方には、無料でドブソニアン望遠鏡を貸し
出します。全長150cm、大口径レンズ30cmの本格的
な望遠鏡で、月のクレーター、木星、土星の輪など、
秋冬の星々をご堪能いただけます。うみほし公園を起
点に、秋深まる丹後を五感で楽しみませんか?

問合せ・申込み

京都府立丹後海と星の見える丘公園

開園時間：9:00～17:00 ※7月～9月は20:00まで
休園日：木曜日(祝日除く)及び年末～2月末 ※7月～9月は無休
入場料無料/駐車場：200台(無料)

〒626-0211 京都府宮津市字里波見
TEL: 0772-28-9111 / FAX: 0772-28-9025
e-ds@eco-future-park.jp
<http://www.eco-future-park.jp>

発行 公園指定管理者 NPO法人 地球デザインスクール



うみほし通信

2013 秋
vol.55

食と自然



公園スタッフ紹介

- 幼いころ、よく遊んで
いた里山が開発でな
くなってしまったの
をきっかけに自然と
人間の関係ってどう
なっているのか関心
を持ち始めました。
うみほし公園では、
自然と人間との架け
橋のような存在にな
りたいです!!
- 丹後で生まれ育
ちました!
丹後が大好きな
とっしーです!
みなさんと笑顔
で自然を楽しみ
たいです!!
ぜひお越し下
さい!
- 幼いころは「趣味
は寝ること!」と
言わんばかりよく
寝たので(笑)今
更ながらその時経
験しなかった自然
の面白さや不思議
さを感じながら生
活しています!



2013 autumn イベントスケジュール

- 10.20.sun.** けもの道を歩こう～動物の痕跡を探せ～
14:00-15:30
山道を歩いて動物の痕跡を探そう!
【定員】10名 【料金】500円 【募集期間】開催3日前まで
- 10.26.sat.** 植樹祭
13:00-15:00
植樹や下草刈りをして、ふるさとの森づくりをし
よう! 午前中は、うみほしフェスタ秋も開催!
かかしが公園を彩ります
- 11.10.sun.** 里山ウォーク～秋編～
11:00-12:00
13:00-15:00
秋の公園をスタッフとノルディックスタイルで歩こう!
【定員】10名 【料金】500円 【募集期間】開催3日前まで
- 11.24.sun.** サバイバーになろう～ワイルドだろろう～
14:00-15:30
森でサバイバルな生き方を学ぼう!
【定員】10名 【料金】500円 【募集期間】開催3日前まで
- 12.15.sun.** リースを作ろう
14:00-15:30
～自然素材でリースが出来るかな～
自然素材を使ってオリジナルのリースを作ろう!
【定員】10名 【料金】500円 【募集期間】開催3日前まで
- 12.21.sat.** 雪遊びスペシャル
14:00-15:30
～雪で色々な遊びをしよう～
ソリや雪だるま作り、アイス作り!
【定員】10名 【料金】300円 【募集期間】開催3日前まで
- 12.25.wed.** 海ガキ・山ガキになろう! 2013 冬
～12.26.thu.
しめ縄づくり、冬のうみほし公園探検、星空観察
【定員】25名 【料金】12000円 【募集期間】11/26(火)まで

うみほし時間

昨日・今日・明日
うみほし公園のすてきな時間をお届けします

天然杉と花木の森 天橋立には杉山がよく似合う

リニューアルしたうみほし通信のトップ記事は、うみほし公園の森を育てるアドバイザーで「宮津ふるさとの森を育てる協議会」のメンバーのひとり、上家透さんです。古くは「与謝の大山」と歌われた大江山連峰のひとつ、杉山を案内していただきました。

杉山に学ぶ

～天然スギのふるさとへ

「平安時代以前からある元普甲道です。」

上家さんについて杉山の林道へ。峠越えの古道を横切ると、スギ・ヒノキの針葉樹林とコナラなどの広葉樹林からなる里人の森。紅葉の美しいウリハダカエデ、杉山で代表的なヒュウガミズやタムシバ。やがて宮津湾を望みノリウツギも咲くなか、大小様々な天然スギが現れました。



上宮津谷展望台から

上家さんが巨大な天然スギを指差しました。「根元から2~3m上で幹が分かれていますね。雪が降り積もり、その上で丸太を切って利用したため、雪の下で残った株から次の幹が立ち上がって『台スギ』となったのです。これらのスギは雪に強く、優れた特質から京都府母樹にも選ばれています。」

「屏風岩」「幻の滝」など杉山特有のかんらん岩の見どころを通過し、林道の終点から先はネマガリタケの生い茂る作業道へ。巨大な天然スギ群が空を覆うなか、斜面を上ると、一番の巨樹「大杉」にたどり着きました。

「胸高周囲は5m。切って年輪を見ることができないので確証はありませんが、他のスギの切り株と比べて推定樹齢300~400年、それ以上という人もい

ます。」根元から太い幹が湾曲した姿は歴史と風格を感じさせます。「この巨樹群は交配した種子で繁殖するために遺伝子の多様性が保たれています。垂れた枝から根を張って繁殖する芦生スギとは、そこが異なるでしょう。」

林道に戻った帰り道、「はばたく森」の一部が見える、と

上家さんが指差しました。「海側から見た杉山の景色が針葉樹と広葉樹の色の違いで羽を広げた鳥のように見えるので、仲間たちとそう呼んでいます。」頭上には針



大杉の説明をする上家さん

葉樹林に縁取られた鳥の頭。「海から眺望した天橋立の美しさは、杉山のなだらかな美しい稜線があつてこそ。わたしたちは背景としての杉山がいかに大事か、より多くの人に知ってもらいたいのです。」

ふるさとの森を考える



杉山の混生林

次は植樹事業を終えた「宮津ふるさとの森」へ案内していただきました。「市民団体・企業が参加した宮津天橋立モデルフォレスト運動の一環で、旧上宮津村の里山に植樹し、100年の森づくりを目指しています。主にヒノキの苗木を植え、土地に潜在する広葉樹を生かして多様な植生へと導きます。」と上家さん。健やかに育ったスギやヒノキがヒュウガミズキ、ヤマボウシ、タムシバなどを引き立て、四季折々の風景、花、紅葉、味覚が楽しめる針広混交林へと夢が広がります。

上家さんは宮津の風土を調べていてあることに気づいたと言います。「植物にも地元の呼び方があって、例えばコシアブラは『コシャピラ』、コナラは『ホウソ』と呼ぶ。その背後に自然に寄り添った人の暮らしがあるのです。ひとりの老人が死ぬとひとつの図書館が無くなるという言葉に胸に、ふるさとの森とその暮らしを少しでも多く伝えていきたい。」

うみほし公園では、10月26日に「宮津ふるさとの森を育てる協議会」と協働で植樹祭を行います。植樹や下草刈りを通じて、小さな苗からともに森をつくりませんか。スタッフも意気込んで準備しているのでどうぞお楽しみに。

うみほし公園で観る天の川



公園だより

エノコログサ

このエノコログサは「ネコジャラシ」という名前でもみなさんご存じではないでしょうか。エノコログサの名前の由来は、「いぬころ草」からきています。穂の形が犬の尻尾に似ているからようです。外国では、「キツネの尻尾草」と言われているそうです。

園内には、「コツブキンエノコロ」や「アキノエノコログサ」といったエノコログサの仲間がいます。是非うみほし公園へ来て、実際に触れて、秋を感じてください。



うみほし公園
の仲間たち



うみほし公園のダイニング担当

いくちゃん

「波見」の海と山の幸を「食む」取り組みを「はむはみ」と呼んでいます。近隣の漁港で旬の魚を買いに行っています。今はカマスや地元でアキイカと呼ぶアオリイカが美味しいです。

海藻メニューは、アカモクの炊き込みご飯。長時間炊いて冷やし固めたウゴは、ももとは行事食



漁港で今日の一品を品定め

で、ネギと生姜で和えてさっぱり食べます。

野菜は地元でとれた旬のもの。ノブキなど山菜も採れるので保存食にしています。このあたり

はもともと半農半漁で暮らしていた地域。身近にある恵みでまかなう暮らしは、まさに地産地消。「もったいない」をいかに美味しくするか、伝統食を参考にしながら手間をかけて工夫しています。